

地方独立行政法人さんむ医療センター
平成24事業年度の業務実績に関する評価結果

平成25年8月

地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会

目 次

年度評価の考え方	1
<評価の基本方針>	1
<年度評価の方法>	1

地方独立行政法人さんむ医療センター平成24事業年度の業務実績に関する評価結果

第1 全体評価	
1 評価結果	3
2 全体評価にあたって考慮した事項	3
3 評価にあたっての意見、指摘等	4
第2 大項目評価	
1 「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価	4
(1) 評価結果	4
(2) 判断理由	4
大項目評価に当たり考慮した事項	5
(3) 評価に当たっての意見、指摘等	6
2 「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価	6
(1) 評価結果	6
(2) 判断理由	6
大項目評価に当たり考慮した事項	6
(3) 評価に当たっての意見、指摘等	7
3 「その他業務運営に関する重要事項」に関する大項目評価	8
(1) 評価結果	8
(2) 判断理由	8
大項目評価に当たり考慮した事項	8
(3) 評価に当たっての意見、指摘等	8
○地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会委員名簿	9
○平成25年度地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会開催経過	9

年度評価の考え方

地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会では、平成 22 年 4 月 1 日に設立された地方独立行政法人さんむ医療センターについて、法人化して 3 年目の平成 24 事業年度の業務実績に関する評価を行った。

〈評価の基本方針〉

- (1) 中期目標・中期計画の達成状況等からさんむ医療センターの業務運営等に関して多面的な観点から総合的に評価を行い、さんむ医療センター運営の質的向上に資するものとする。
- (2) 評価を通して、中期目標・中期計画の達成状況や取り組み状況を市民に分かりやすく示すものとする。
- (3) 業務運営の改善や効率化等の特色ある取り組みや様々な工夫を積極的に評価するものとする。
- (4) さんむ医療センターを取り巻く環境の変化等を踏まえ、必要に応じて評価の方法を見直すものとする。

〈年度評価の方法〉

当該年度計画に定めた事項ごとに行う「項目別評価」と業務実績全体の進捗状況について行う「全体評価」の 2 つを併せて行った。

(1) 項目別評価の方法

項目別評価は、①評価委員会による小項目評価、②評価委員会による大項目評価の手順で行った。

① 小項目評価

評価委員会において、法人の自己評価及び目標設定の妥当性などを総合的に検証し、年度計画の小項目ごとの進捗状況について評価を行った。

評価委員会による評価と法人の自己評価が異なる場合には、評価委員会が評価の判断理由等を示した。また、必要に応じて特記すべき点などについてコメントを付した。

② 大項目評価

評価委員会において、小項目評価の結果、特記事項の記載内容等を考慮し、大項目ごとの進捗状況について評価を行った。

(2) 全体評価の方法

- ① 評価委員会において、項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の全体的な進捗状況について、記述式による評価を行った。
- ② 全体評価においては、地方独立行政法人化を契機とした病院改革の取り組み（さんむ医療センター運営における自律性・機動性の発揮、財務内容の改善、病院運営の透明性の向上など）を積極的に評価した。

地方独立行政法人さんむ医療センター平成24事業年度の業務実績に関する評価結果

第1 全体評価

1 評価結果

地方独立行政法人さんむ医療センターは、平成22年4月1日に地方独立行政法人として設立され3年目の決算を迎えた。平成24事業年度の業務実績については、年度計画で掲げている3つの大項目評価「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」、「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「その他業務運営に関する重要事項」が全てB評価であったこと、更には、あと1年で中期計画目標数値を達成するには難しい項目も有るが、特に以下の点を評価し、全体評価としては中期目標及び中期計画の達成に向け、概ね計画どおりに進んでいると評価する。

2 全体評価にあたって考慮した事項

(1) 「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」の大項目においては、山武郡市医師会と連携した休日当番体制、山武郡市内における二次救急医療輪番体制において救急医療を実施したこと、看護師確保対策として、看護実習生・職場体験者・インターンシップ実習生の受入れや、看護学生に対する奨学金貸付制度による貸付者が20名であったこと、看護師離職率も5.7%と低い値であったこと、山武市の乳幼児健診を小児科と連携し院内で実施し、各予防接種を積極的に行ったことなどが上げられる。一方、看護師の人数が目標値に達しなかったこと、認定看護師が少ないままであること、患者サービスの一層の向上の面においてまだ課題があることなどから、**B評価**（中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる。）とした。

(2) 「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」の大項目においては、再雇用制度を活用し看護師の効果的な人員配置をしたこと、職務能力向上のための院内研修会の実施や外部研修へ参加したこと、DPC（診断群分類包括評価）を導入し効率的な医療の実践や後発医薬品の採用を図ったことなどが上げられる。一方、退職金のポイント制の導入が遅延していること、人件費比率は下がっているものの依然数値が高いこと、入院・外来患者数が目標に達していないことなどから、**B評価**（中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる。）とした。

(3) 特筆すべき取り組み

① 山武郡市医師会と連携した休日当番体制及び病院群輪番制二次救急医療

体制の実施に努力したこと。

- ② 平成 23 年 4 月に産婦人科医療が開始され、平成 23 年 7 月からは分娩が開始され現在まで順調であること。
- ③ 平成 24 年 4 月から開始された回復期リハビリテーション病床稼働が順調であること。
- ④ 平成 24 年 4 月から D P C（診断群分類包括評価）を導入し、その成果が収益に反映していると思われること。
- ⑤ 千葉県がん診療連携協力病院として緩和ケア病棟の平成 25 年度内開設に向け準備を進めていること。

3 評価にあたっての意見、指摘等

- ア 地域医療ニーズに合った医師及び看護師の確保に努めること。
- イ 内部留保を多くするだけでなく適切に投資をし、安心・安全な医療を地域に提供すること。
- ウ 働きやすい病院とは、トップダウンではなく、職員同士で話し合うことが大切である。そのために内部職員間で病院について多くディスカッションすること。
- エ 病児保育を充実させ、働きやすい職場環境整備に努めること。
- オ 地方独立行政法人制度を活用した人事評価制度のもと適正な給与制度の運用を円滑に進め、併せて人件費比率の改善に努力すること。
- カ 職員の質向上を図られたい。
- キ 経営状況は、概ね順調である。

第2 大項目評価

1 「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価

(1) 評価結果

B評価（中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる）

(2) 判断理由

小項目の集計結果（《第2表 小項目評価の集計結果》参照）では、B評価となるが、下記の【大項目評価に当たり考慮した事項】で示しているように、住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置の中で、救急医療の充実、医療水準の向上、患者サービスの一層の向上、安心して信頼できる良質な医療の提供などの成果を踏まえて総合的に評価し、B評価が妥当であると判断した。

《 第1表 大項目の評価方法 》

大項目評価は、小項目評価の結果、特記事項等の内容を考慮し、大項目ごとに中期目標・中期計画の達成に向けた進捗状況について、次の4段階により評価する。

- A：中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりに進んでいる
- B：中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる
- C：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている
- D：中期目標・中期計画の達成のためには改善事項あり

【大項目評価に当たり考慮した事項】

① 小項目評価がA（年度計画以上に実施している）の評価の項目は、次の1件であった。

ア 看護師及び医療技術職員の人材確保〔項目番号：第2-2-(1)-イ〕

看護実習生43名、職場体験17名、インターンシップ実習生15名を受入れた。奨学金制度については、看護学生20名への貸与を決定した。平成24年度看護師入職者9名、離職率5.7%

《 第2表 小項目評価の集計結果 》

評価対象項目数37項目に対し、A：年度計画以上に実施しているが1項目及びB：年度計画をほぼ順調に実施しているが34項目であり、割合は35/37と9割以上を占めることから、小項目評価の集計では、B評価（中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる）と評価した。

分野	評価対象項目数	A：年度計画以上に実施している	B：年度計画をほぼ順調に実施している	C：年度計画を十分に実施できていない	D：年度計画を大幅に下回っている
1 地域の特性に配慮した医療の確立と提供	3		3		
2 医療水準の向上	14	1	11	2	
3 患者サービスの一層の向上	9		9		
4 安心して信頼できる良質な医療の提供	5		5		

5 市の医療施策推進における役割	6		6		
合計	37	1	34	2	

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

- ア 医師を診療科ごとに評価すること。
- イ 内科疾患の患者が多いので、内科を充実させること。
- ウ 看護師の離職率を低く保つため、働きやすい魅力ある病院であることを存続すること。
- エ 医師・看護師等の人的資源を確保出来るかが課題である。
- オ 人的投資の観点から、新人看護師に対する卒後教育を実施すること。
- カ 医療者向けに勉強出来る環境（医師・看護師医学書等）を充実させ、図書室の整備を図ること。
- キ 認定看護師資格取得に対する支援を行い、必要な分野の認定看護師の養成を行うこと。
- ク 紹介患者数及び逆紹介患者数を診療科ごとに分析し、地域医療機関と連携を図ること。
- ケ 安心・安全な医療を地域に提供すること。

2 「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価

(1) 評価結果

B評価（中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる）

(2) 判断理由

小項目の集計結果（《第3表 小項目評価の集計結果》参照）では、B評価となるが、下記の【大項目評価に当たり考慮した事項】で示しているように、業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置の中で、地方独立行政法人としての運営管理体制の確立、効率的かつ弾力的な業務運営などの成果を踏まえて総合的に評価し、B評価が妥当であると判断した。

【大項目評価に当たり考慮した事項】

- ① 小項目評価がA（年度計画以上に実施している）の評価の項目はありませんでした。

《 第3表 小項目評価の集計結果 》

評価対象項目数21項目に対し、B：年度計画をほぼ順調に実施しているが20項目であり、割合は20/21と9割以上を占めることから、小項目評価の集計では、B評価（中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる）と評価した。

分野	評価対象項目数	A：年度計画以上に実施している	B：年度計画をほぼ順調に実施している	C：年度計画を十分に実施できていない	D：年度計画を大幅に下回っている
1 地方独立行政法人としての運営管理体制の確立	1		1		
2 効率的かつ効果的な業務運営	20		19	1	
合計	21		20	1	

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

ア メディカルソーシャルワーカーを入れることで、医師の負担を軽減すると共に、患者サービスの向上に努めること。

イ 糖尿病や心不全に対するコントロールを適正に行い、トータルだけではなく診療バランスも考慮し、医師の人事をすること。

ウ 人事評価制度の導入により、勤務成績を考慮した給与制度の反映を適正に実施すること。

エ 内部職員間で病院について多くディスカッションすること。

オ 職員への保育充実が離職率の低下につながる。職場環境を充実させる中で、院内保育をより充実させるなど、特に女性が働きやすい環境を作り、子育て支援について考慮すること。

カ DPC病院として診療単価を上げるため、平均在院日数を短縮させること。

キ 費用の節減に引き続き努めること。

ク 入院・外来について、1人当たりの原価計算を行い内容分析すること。

3 「その他業務運営に関する重要事項」に関する大項目評価

(1) 評価結果

B評価（中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる）

(2) 判断理由

小項目の集計結果（《第4表 小項目評価の集計結果》参照）では、B評価となる。下記の【大項目評価に当たり考慮した事項】で示しているように、その他業務運営に関する重要事項の中で、施設整備の推進、地域医療再生交付金の活用などの成果を踏まえて総合的に評価し、B評価が妥当であると判断した。

【大項目評価に当たり考慮した事項】

① 小項目評価がA（年度計画以上に実施している）の評価の項目はありませんでした。

《 第4表 小項目評価の集計結果 》

評価対象項目数2項目に対し、B：年度計画をほぼ順調に実施しているが2項目であり、割合は2/2と全てを占めることから、小項目評価の集計では、B評価（中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる）と評価した。

分野	評価対象項目数	A：年度計画以上に実施している	B：年度計画をほぼ順調に実施している	C：年度計画を十分に実施できていない	D：年度計画を大幅に下回っている
1 施設整備の推進	1		1		
2 地域医療再生交付金の活用	1		1		
合計	2		2		

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

ア 回復期リハビリテーション医療の更なる質の向上に努められたい。

イ 緩和ケア病棟の早期開設を進められたい。

○地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会 委員名簿

	氏 名	役 職 等
委 員 長	村 上 信 乃	総合病院国保旭中央病院名誉院長
副 委 員 長	長 隆	東日本税理士法人代表社員
委 員	伊 藤 よしみ	山武市三師会
委 員	小 川 吉 孝	山武市議会
委 員	加 藤 誠	成田赤十字病院院長
委 員	亀 田 信 介	亀田総合病院院長
委 員	炭 山 嘉 伸	東邦大学理事長
委 員	水 田 宗 子	学校法人城西大学理事長

(敬称略、委員は五十音順)

○平成 25 年度地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会開催経過

日 程	審 議 議 題
第 1 回 平成 25 年 7 月 24 日 (水) 山武市役所 第 5 会議室	① 地方独立行政法人さんむ医療センターにおける平成 24 事業年度の業務実績評価及び財務諸表への意見について ② 地方独立行政法人さんむ医療センター次期中期目標に係る意見について